

# How To 似顔絵



Vol.2

村川 正敏

## はじめに

---

### はじめに

この2巻でも、ある人気の女優さんを描いています。ここでも名前はあえて明かしません。ただ、この女優さんの場合はかなり特長がある顔なので、早い段階で誰だかわかってしまうかもしれません。

さあ誰でしょう。

先に名前を明かすと、先入観で、あまり似ていなくても似ていると感じてしまいます。それ似顔絵のトリックです。

この本ではそのトリックを使わず、似ているか否かを問う、こちらからのチャレンジでもあります。完成した作品がその答えとなります。

また、この本は、似顔絵や人物画を描いてみたい人への、手順の参考書にもなっています。

画材はさまざまなもので応用可能ですが、追求するところは同じです。紙と鉛筆、画用紙と絵の具・パステル・クレヨン、イラストボードにエアブラシ、キャンバスに油絵の具、パソコンにペンタブレットといろいろあります。いずれも、手を運んで描くのは同じです。パソコンで描くとしても、自動や半自動で描いてくれるわけではなく、そこはやはり、手の技術が必要です。

パソコンは確かに便利で、作業効率もいいですが、それに甘える形になっては上達は望めません。これから絵を学びたい方は、できるなら、紙と鉛筆でたくさん描くことをお勧めします。

私もずいぶん、紙と鉛筆、イラストボードにエアブラシで、たくさんの方々を描かせていただきました。そのひとつの結果がここにあると言っていいでしょう。

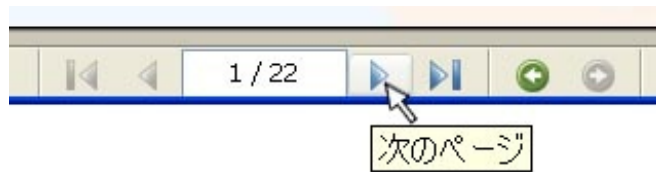
それでは、どうぞごらんください。

## この本の読み方

この本は、内容のほとんどが絵(画像)で占められています。

PDFリーダーで読む場合は、表示＞ページレイアウトを“連続ページ”にし、【次のページ】ボタンをクリックすると、コマ送りで連続的な変化を見ることができます。(下の図は、Adobe Reader 7.0 の場合)

【前のページ】ボタンでは、順序を逆にたどることができます。



各工程には、作業のポイントや注意点などが書かれていますので、ページの進みをストップしてお読みください。

### STEP 0

白紙の用紙です。

横にモデルになる写真を置き、紙にどう描くか頭の中でイメージをふくらませます。

### STEP 1

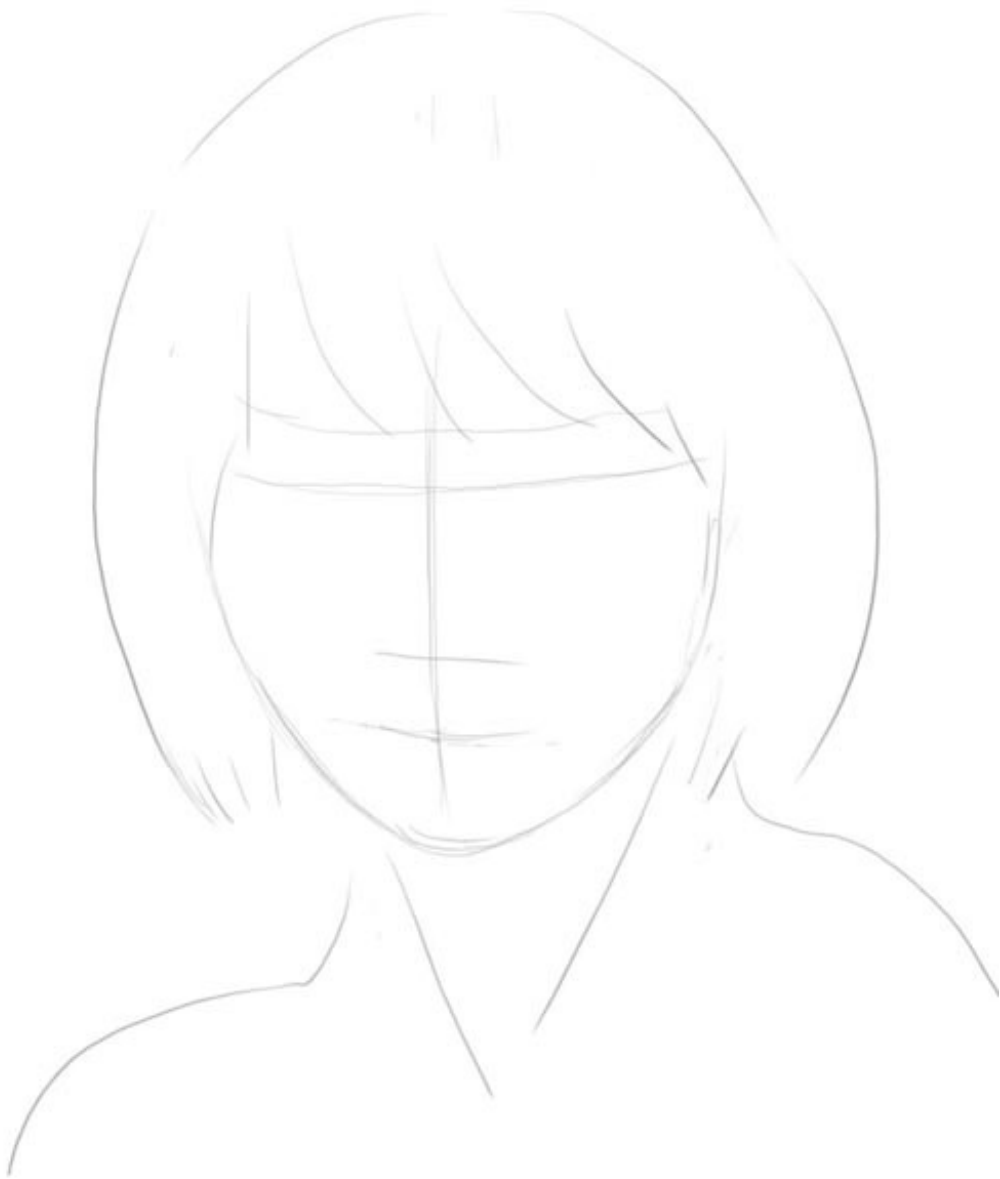
おおまかにアタリを描きます。



なるべく、薄い線で顔の輪郭、髪の毛、服の輪郭描きます。最終的にこの線は、消すことになります。

### STEP 2

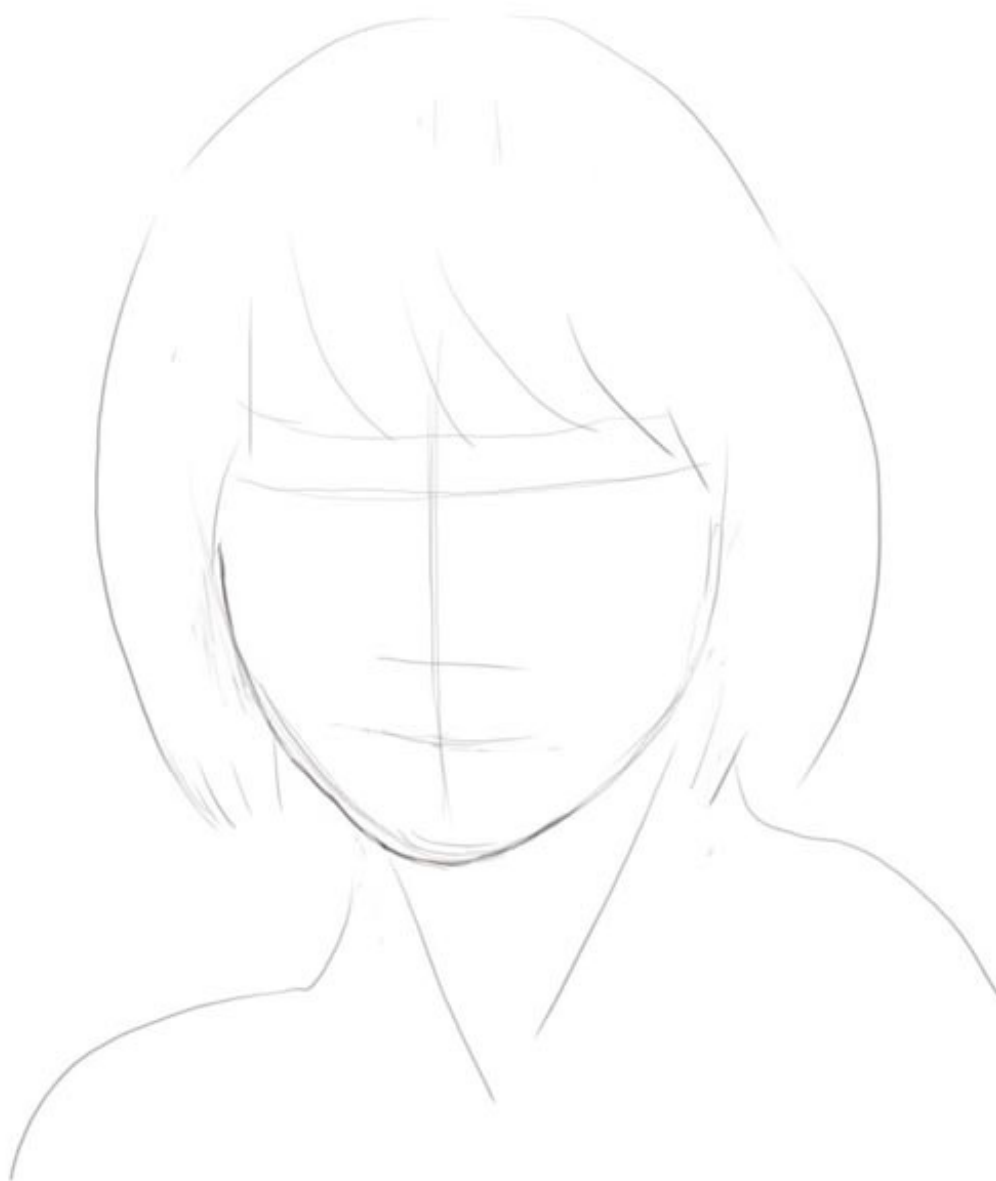
顔の配置をアタリで入れる。



顔の中心、目と眉の位置、鼻、口の位置をおおよその見当で入れておきます。この絵の場合は、微妙にずれた正面なので、難易度がやや高いかもしれません。

STEP 3

あごの輪郭から描き進めます。



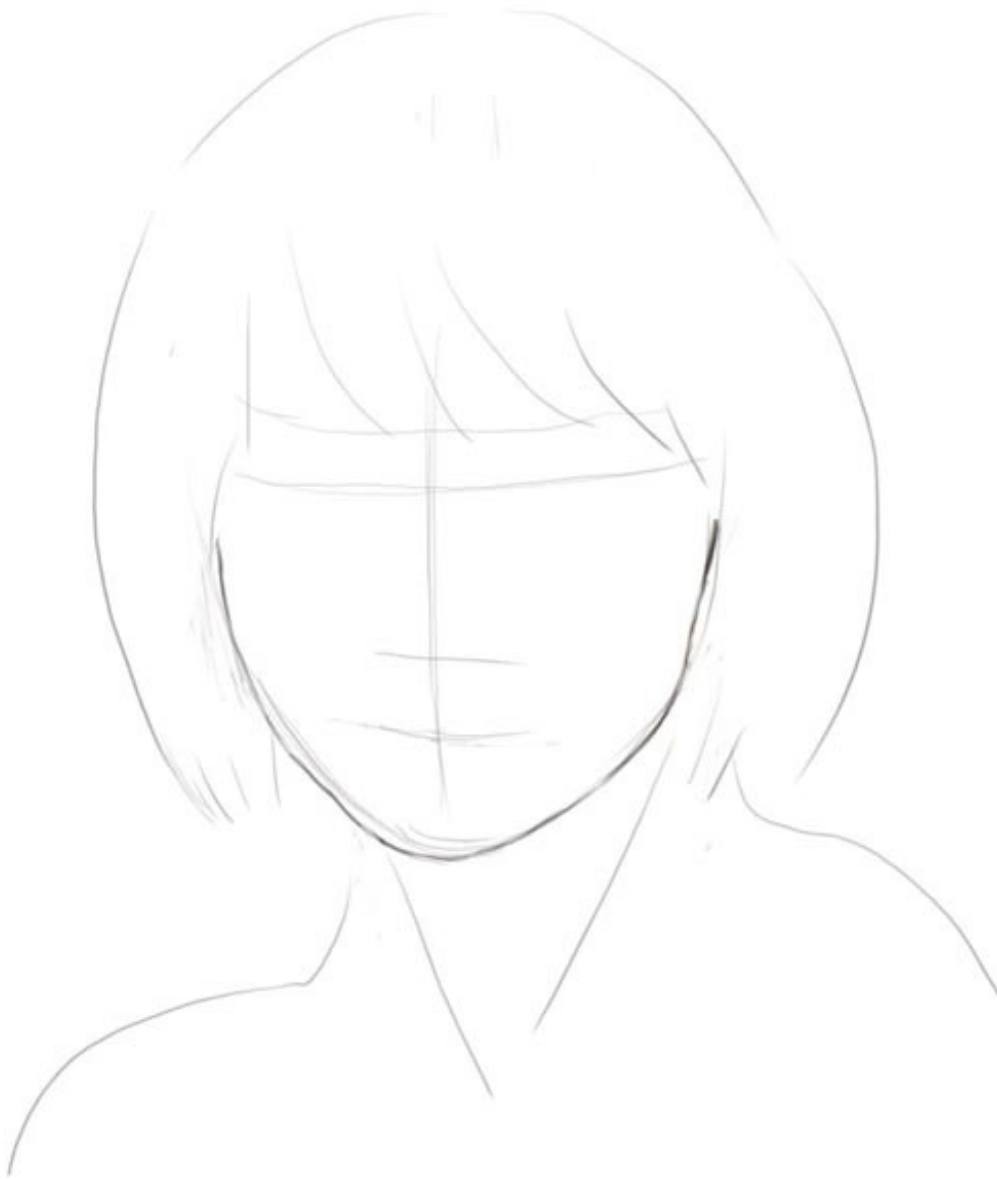
人によっては、いきなり目から描き始める人もいますが、紙にうまく収めるには輪郭から押さえて行くのがベストです。やり方は、それぞれの流儀なので、さまざまあっていいと思います。

ここからの工程は、かなり要約したものになっています。実際は、もっと細かな作業が必要です。描いたり消したりしながら、求める線を紙に残していく、そんな感じの作業になります。

まず、あごから書き進めます。右利きの場合は、この部分のように、右下に流れる線が一番描きにくいので、あえてここから描き始めます。

STEP 4

顔の輪郭を固めます。

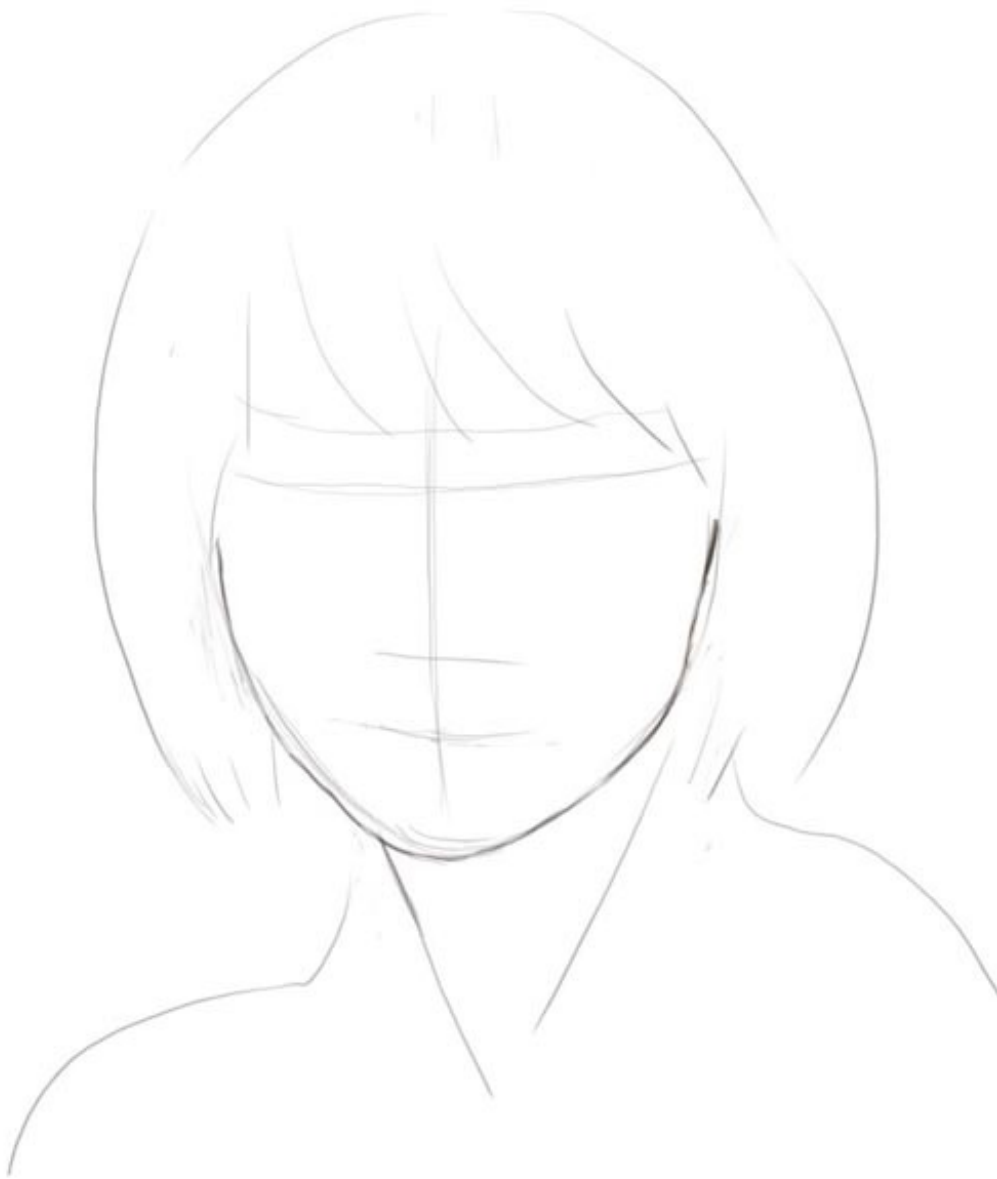


頬のふくらみ、あごの長さや丸みなどに気を配ります。丸みの感じを捉えきれないと、ふっくらsたり、逆に痩せた感じになってしまいます。



STEP 5

首の輪郭を描きます。



この絵では、首はわずかしか見えていませんが、衣服とつなぐ重要な部分なので、しっかり描いておきます。

STEP 6

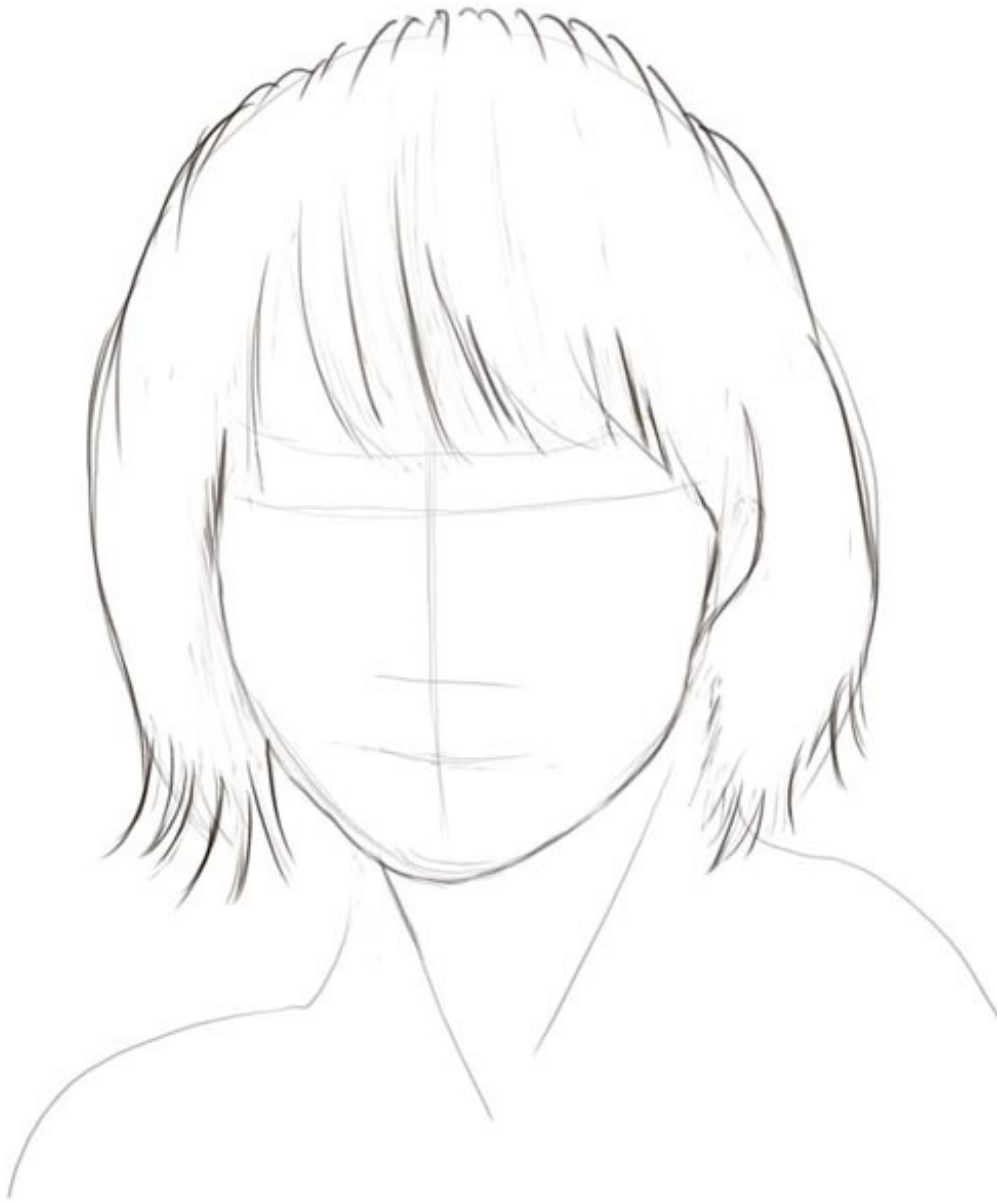
髪の輪郭を描きます。



短めのヘアースタイルなので、その先端部分の描き方がポイントかもしれません。髪の外側の輪郭を、頭の形に沿って後ろに回り込感じを出しながら描きます。

STEP 7

髪先端部分を描きます。



髪先端部分は、以外に乱れて、揃っていなかったりします。絵にする場合は、そのまま描くより、省略し形を整えるようにして、よりきれいに描きます。前髪も含めて、全体のボリュームを捉えます。

STEP 8

髪の詳細を描きます。



髪の流れを的確にとらえて描きます。ボリューム感を出すため、強弱や線の太さ、また、1本1本の表現にも気を配ります。

STEP 9

服の輪郭を描きます。



服の輪郭は、細部にこだわり過ぎず、思い切りのいい線で描きます。ただし、骨格をくずさないように。

STEP 10

小鼻と鼻の穴を描きます。



位置関係と、線の強弱に気を配ります。ここからは、かなり繊細な工程が続きます。

STEP 11

鼻筋と、周囲の細かなしわや凹凸を描きます。



線の強弱によって、鋭い鼻筋か、なだらかな鼻筋か、感じが違ってくるので注意深く。ほぼ正面なので、あまり強い線にし過ぎると鼻筋が鋭くなるので、ここでは、薄くソフトに描きます。

STEP 12

口を描きます。



口の真ん中と、口角のバランスに注意します。このモデルさん、少しあごを歪めた感じで左右対称にならないので、その点注意です。



STEP 13

唇を描きます。



線が太いと唇は厚ぼったくなるので、線を細く繊細に描きます。先の説明のとおり、左右対称でないので、注意。

STEP 14

眉を描きます。



眉には一本一本の配列の規則性があります。写真ではそれがわかりにくいものも多く、悩ましいものですが、過去の作品の記憶を加味してそれらしく描きます。シルエットを大事に、おおらかに描きます。

STEP 15

目(上下両まぶた)を描きます。



最大の山場です。ここで失敗すると、今までの作業を台無しにしてしまいます。それをいやがって、先に目を描く人がいるのでしょうか。

大きさ、位置関係、左右の開き、つり具合たれ具合、二重か一重かなど、気を配る点がたくさんあります。このモデルさんの場合、二重の大きなつりあがった感じが特徴的な目です。そこをうまく捉えます。まつ毛は、生える方向や長さが1本1本違います。かなり繊細に描きます。下まつ毛もはっきりした人なので、そこも手を抜かずに描きます。

STEP 16

目(瞳)とまつ毛を描きます。



目は線の幅1本ずれても表情が変わります。注意深く描きます。  
そろそろ、だれかわかるかもです。

STEP 17

虹彩を描きます。



黒目の虹彩を、ひだひだの感じが出るように、放射状の線で描きます。表情が、かなりはっきりしてきましたね。

STEP 18

髪の毛の細部を描きます。



髪の毛の流れを気にしながら、細部を描きます。描いた線は、彩色をすると目立たなくなるので、色を塗るときのガイドの役割が強いです。

STEP 19

服のパーツを描きます。



ここでは、服のパーツとして肩ひもがあるので、それを描きます。もう一息。



STEP 20

服のしわなどを描きます。



服の立体感を意識して、うるさくない程度にしわやその他の部分を入れます。線描はこれにて、終了です。



STEP 21

アタリの線を消します。



最初に描いた、アタリの線を、必要な線を消さないように注意しながら消します。線画の完成です。

ただ、このままでは、今ひとつ本人らしく見えないんですね。不思議なことに。

色をつけると、これが劇的に似てきます。逆に、色付けを失敗すると、別人にもなってしまいますが・・・。

STEP 22

一部を彩色。ごめんなさい、無料本での紹介はここまでです。

仕上がりは [こちら](#) →



髪のを塗ります。流れと光の当たり具合を意識しますが、写真にとらわれず、独自の解釈を加えて存在感を高めます。

これ以降の工程は、企業秘密も含みます(大げさ?)ので、公開いたしません。完成した作品は、上のリンクから入り、【新作】のメニューから確認できます。